

# H.7~16

平成7年~16年



## モックル

河内長野市

シンボルキャラクター「モックル」決定 (10年)



「岩湧の森」全面オープン (7年)



ふれあい考古館開館 (9年)



なみはや国体開催 (9年)



市ホームページ開設 (11年)



第2清掃工場稼働 (12年)



キックスオープン (14年)



モックルコミュニティバス運行開始 (14年)



くすのかホール開館 (16年)



子育て支援センターかわちながのオープン (13年)

阪神淡路大震災やバブル経済の崩壊、それに続く景気低迷など、日本は「失われた10年」へ突入します。しかし、それは市民と行政との協働によるまちづくりが動き始めた時代でもありました。本市では環境や交通、医療福祉、教育などの分野で様々な制度や施設が充実され、未来への橋が架けられました。

**7年**  
5月 「岩湧の森」全面オープン  
9月 第3次総合計画(8年~17年)決まる▽滝畑コミュニティバス運行開始

**8年**  
2月 ごみシール制スタート  
4月 関西国際空港行きリムジンバス運行開始  
6月 「人権擁護都市」を宣言  
7月 市域100%給水達成  
8月 4代目市長に橋上義孝氏

**9年**  
5月 ふれあい考古館開館  
10月 「情報公開制度」「個人情報保護制度」スタート▽シンボルキャラクターのデザイン決定▽なみはや国体開催

**10年**  
5月 シンボルキャラクターの愛称が「モックル」に決定  
11月 土砂埋立て等による土壌汚染と災害を防止するための規制条例施行  
12月 小児夜間救急医療スタート

**11年**  
7月 水道水源保護条例施行  
10月 市ホームページ開設

**12年**  
4月 介護保険制度始まる▽南河内清掃施設組合第2清掃工場稼働▽あやたホール(小山田コミュニティセンター・地域福祉センター)オープン  
10月 ごみ非常事態宣言を解除

**13年**  
5月 子育て支援センターかわちながのオープン  
**14年**  
2月 議員定数を24人から22人に削減  
4月 生活安全条例施行▽小児夜間救急医療完全実施  
5月 ラブリーホール入館200万人突破

**15年**  
7月 モックルコミュニティバス運行開始▽キックス(市民交流センター・図書館)オープン  
**16年**  
11月 図書館入館100万人突破  
10月 三日市町駅前再開発事業再開発ビル着工

**16年**  
3月 くすのかホール(清見台コミュニティセンター・地域福祉センター)開館  
4月 市制施行50周年

●写真で振り返る50年「平成7年~16年」